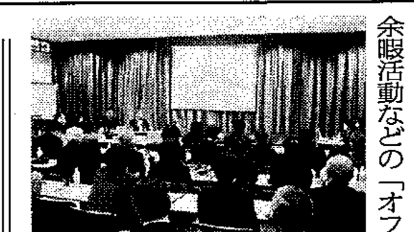
JIA公開審査

実践学園中・高自由学習館を評価

ソフトとハード一体化 新しい建築を生み出す



議論が1時間半に及んだ最終審査

日本建築家協会（JIA、芦原太郎会長）の13年度「日本建築大賞」に選ばれた「実践学園中学・高等学校自由学習館」（設計者＝古谷誠章氏〈早大〉、八木佐千子氏〈ナスカ〉）は、教室での授業という「オン」の活動に対し、自学自習や余暇活動などの「オフ」の状態を空間的・時間的に生み出すとともに、互いの交流が自然と生まれるような場所を目指した建築だ。新しい教育プログラムの実現にも踏み込み、密度の高い仕事をしていると高く評価された。

＝1面参照

2日に行われた公開審査のプレゼンテーションで古谷氏は「住宅街にある現在の校舎はコンパクトで、余白やゆとりを生み出すには限界があった。そこで徒歩1分の公園に隣接する敷地に自学自習や余暇活動を実践する場を創り出した」と説明。「子どもの育つ環境は厳しくなっている。満員電車で通学する中高生は本当に気の毒。生徒たちが居心地良く、自主的に行動できるスペースを創りたかった」と設計に込めた思いを語った。

4層吹き抜けのワンルームの中にホールと図書館が配され、それらの余白や隙間にさまざまな余暇活動のための空間を設けた。古谷氏らは、新しい教育空間や学習環境について、教育工学が専門の苅宿俊文青山学院大教授と10年以上にわたり共同研究を行っている。今回のプロジェクトにも苅宿氏が協力した。

古谷氏は「アイデアが先にあって建築主とプロジェクトに恵まれた。これまでの研究成果を礎に新しい学びの環境を目指した。おおらかでフレキシブルな空間・建築を生徒たちがどのように工夫し、どう使い込んでいくかに興味を持っている」と話した。

最終審査に残った9作品のプレゼンテーションが終わった後、三宅理一藤女子大教授、大森晃彦建築メディア研究所代表、長谷川逸子長谷川逸子・建築計画工房代表の審査員3氏は共に「各作品がそれぞれの課題に誠実に向き合い、取り組んでいる。すべてに賞を与えたい」と評価。「建築の場所的・時間的な存在」「建築家の社会的役割」などをポイントにした議論は1時間半に及んだ。

大賞受賞作について三宅氏は「住宅街の中にすぽっとはまっている。内部空間も一見複雑そうだが明快だ。教育者として自学自習という教育プログラムにも興味を持った」と講評。大森氏も「周辺環境の難しい条件をしっかりと解いている。大きな空間の中でさまざまな人がさまざまに活動しており、不思議な空間、平面ができている」と評価。

長谷川氏は「都市の持つさまざまな条件の使い方がうまい。外部とのコラボレーションによってソフト（教育プログラム）とハード（建築）が一体化し、新しい建築が生み出されている」などと講評した。

新労務単価

業界に賃金への反映要請

国交省 自治体や民間へ周知も

国土交通省は、1日から適用された新たな公共工事設計労務単価を技能労働者への賃金支払いに適切に反映させるよう、建設業界団体に1月30日付で要請文書を出した。都道府県や政令市など公共工事を発注する地方自治体にも新労務単価の早期適用を要請。不動産業界など民間発注者に対しても、物価や賃金の変動を理由とする受注者からの請負代金の変更申請に柔軟に対応するよう協力を求めた。

業界団体への要請文書では、適正水準の賃金支払いを実現するため、適正価格での下請契約の締結に加え、元請から下請に対し、労働者に賃金を適切に支払うよう要請することも求めた。

急激な賃金の変動に対応して請負契約額を変更するインフレスライド条項を適用するなどして、下請契約や技能労働者の賃金引き上げも行うよう要請した。

労務単価には、社会保険料となる法定福利費（本人負担分）が含まれている。これを考慮し、技能労働者の社会保険への加入を徹底することもあらためて周知した。

自治体への要請でも、これらの内容を周知。国交省が直轄工事の元請と1次下請を社会保険加入企業に限定する措置を14年度中に導入することを紹介し、同省の事例を参考に各自治体でも検討することを求めた。

民間発注者に対しては、建設産業の給与水準が全産業平均を大きく下回っていることを指摘した上で、労務費の上昇にも対応して適正水準の賃金が発注額に織り込まれる必要性を訴えた。

国交省は、設計労務単価が技能労働者の賃金水準の上昇に結び付いているかどうかを把握する実態調査を引き続き実施。今後の単価改定に反映させていく考えだ。

2014展望　建機

キャタピラージャパン

竹内　紀行社長

寿命全期間でサービス力向上

昨年は堅調な建設需要に支えられ、国内の油圧ショベル出荷台数は3割ほど伸びた。14年度は排ガス規制の関連で、中～大型クラスの油圧ショベルは反動減、小型クラスは駆け込み増となるだろう。結果的には、12年度以上、13年度未満といったところに落ち着くのではないか。建機の稼働率は非常に高い水準を維持するだろう。サービスや部品の供給が重要になってくる。

サービス力の向上に向けては、建機の寿命の全期間に携わる気持ちで取り組む。まずユーザーには、定期的に建機の健康診断を受けてもらい、純正部品を使ってもらう。レンタル会社に販売した機種についても、研修を行って正しいメンテナンスを学んでもらい、少しでもユーザーの利益になるよう努める。

排ガス4次規制対応車の販売では、トータルコストの考え方を分かりやすく説明することで売り上げを伸ばしていきたい。

4次規制車は粗悪な燃料を使うと不具合を起こすことが中古車として流通させる際の妨げになると言われているが、燃費性能、生産性、故障率の低さを十分にアピールすれば、ユーザーは評価してくれるはずだ。

建機の省施工化が進めば、建設現場の人手不足を緩和するだけにとどまらず、余計な機械の動作が減る分、二酸化炭素の削減にもつながる。

ただ、ICTやマシンガイダンスなどの技術の普及にはコストがかかるだけに、国の後押しが欲しい。

首都圏では活発な都市開発が続いており、インフラの老朽化といった課題もある。中長期的に見ても需要は堅調を維持するだろう。われわれは高い技術とサービスで貢献する。

IBEC サステナブル建築賞 国交大臣賞に3点

19日表彰式

建築環境・省エネルギー機構（IBEC、村上周三理事長）は3日、環境負荷低減や省エネルギーに顕著な成果を上げ、今後の普及効果が期待できる建築物を顕彰する第5回「サステナブル建築賞」（審査委員長・川瀬貴晴千葉大大学院教授）の入賞作品を発表した。国土交通大臣賞3点、IBEC理事長賞4点、審査委員会奨励賞5点が選出された。

表彰式は19日午前11時から、東京都千代田区の東海大学校友会館で行われる。

受賞物件は次の通り。

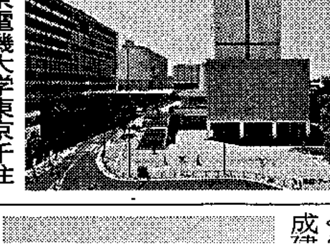
▽作品名（所在地）＝①建築主②設計者③施工者④構造・規模（敬称略）。

【国土交通大臣賞】

▽鹿島技術研究所本館研究棟（東京都調布市）＝①鹿島②鹿島③鹿島④RC造地下1階地上5階塔屋1階建て延べ8914平方㍍

鹿島技術研究所本館研究棟

▽東京電機大学東京千住キャンパス（東京都足立区）＝①東京電機大学②槇総合計画事務所、日建設計、日建設計総合研究所、東京理科大学・井上隆③東洋熱工業④S・SRC・RC造地下1階地上14階塔屋2階建て延べ7万2758平方㍍



東京電機大学東京千住キャンパス

▽六合エレメック本社ビル（名古屋市）＝①六合エレメック②日建設計③竹中工務店、ダイダン④S造4階建て延べ1155平方㍍

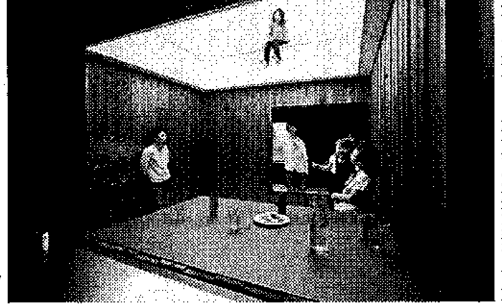
【IBEC理事長賞】

▽飯野ビルディング〈I期〉（東京都千代田区）＝①飯野海運②竹中工務店③竹中工務店④SRC・S・RC造地下5階地上27階塔屋2階建て延べ10万0540平方㍍

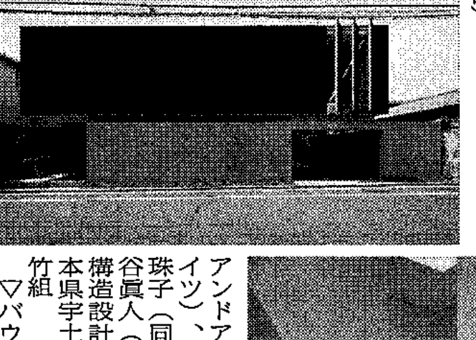
▽ヒューリック本社ビル（東京都中央区）＝①ヒューリック②日建設計③大成建設・飛島建設共同企業体④S・SRC一部プレキャストコンクリート造（免震構造）地下1階地上10階塔屋1階建

JIA新人賞は矢板氏、長

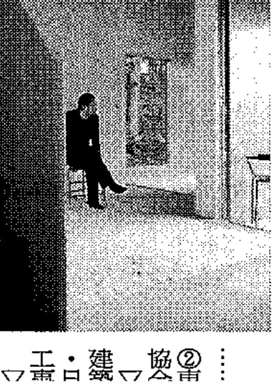
宇土市立宇土小学校（撮影・堀田貞雄）



バウンダリー・ハウス



PATIO（撮影・新建築社写真部）



日本建築家協会（JIA）が発表した13年度「日本建築大賞」などの受賞作品と受賞者は次の通り。

＝1面参照

▽作品名＝①設計者（所属先）②建築主③施工者（敬称略）。

【日本建築大賞】

▽実践学園中学・高等学校自由学習館＝①古谷誠章（早大、ナスカ）、八木佐千子（ナスカ）②実践学園③大成建設

【日本建築家協会賞】

▽宇土市立宇土小学校＝①小嶋一浩（シーラカンスアンドアソシエイツ）、赤松佳珠子（同）、新谷眞人（オーク構造設計）②熊本県宇土市③小竹組

▽バウンダリー・ハウス＝①山下保博（アトリエ・天工人）②大曽根康子③二宮建設

▽東京駅丸の内駅舎保存・復原＝①鎌田雅己（JR東日本）、前田厚雄（ジェイアール東日本建築設計事務所）、田原幸夫（同）②JR東日本③鹿島・清水・鉄建JV

▽東京スカイツリー 東京スカイツリータウン＝①亀井忠夫（日建設計）、慶伊道夫（同〈現エードス〉）、吉野繁（同）、土屋中（同）、小西厚夫（同）、土屋哲夫（同）②東武鉄道、東武タワースカイツリー、東武エネルギーマネージメント③大林組、株木建設、東武建設、大成建設、東武谷内田建設

【新人賞】

▽PATIO＝①矢板久明（矢板建築設計研究所）、矢板直子（同）

▽Y・o（ワイオー）＝①長田直之（ICU一級建築士事務所）

【25年賞】

▽播磨屋本店生野総本店＝①狩野忠正（竹中工務店）、天野直樹（同）、野田隆史（同）②播磨屋本店③竹中工務店

▽志賀町民センター（現和邇文化センター）＝①徳岡昌克（徳岡昌克建築設計事務所〈現徳岡設計〉）②滋賀県志賀町（現大津市）③戸田建設

▽第五福竜丸展示館＝①杉重彦（杉建築設計事務所）